

先行事例(追加)

1. 高座渋谷 IKOZA(大和市)【HP:<https://www.yamato-future.jp/shibuya/>(渋谷学習センター)】

○施設情報

竣工：H22.1 延床面積：1万8,400㎡（民間：約7,000㎡、公共：約4,000㎡）（地上7階）

複合施設：市役所分室、市営交番、多目的ホール、学習センター、図書室、商業施設など

○施設概要

駅前の市有地を活用した公共施設と民間施設の複合施設であり、「世代間交流の場」と「賑わいの場」の創出を目指し整備されました。

施設名称のIKOZA（イコーザ）は、「憩いの場」をイメージし、「行こう」と「高座」を合わせたもので、一般募集によって決定されました。

公共施設に加え、地域住民の生活の核となる生鮮食品スーパー・カフェ・銀行といった生活利便施設、近年の健康志向を反映した温浴施設など、複数の機能が同じ建物に配置されています。また、公共施設においても、3階部分に文化施設機能（図書室、学習センター、キッズコーナー）を集約することで、多世代の市民の交流を図っています。

2. 武蔵野プレイス(武蔵野市)【HP:<https://www.musashino.or.jp/place/>】

○施設情報

竣工：H23.1 延床面積：9,810㎡（地上4階、地下3階）

複合施設：図書館、生涯学習センター、市民活動センター、青少年センターなど

○施設概要

「人々の出会いや情報の共有」、「知的な創造や交流を生み出す」、今までの図書館の概念にとらわれない「活動支援型」の公共施設です。

施設メインエントランスの目の前にカフェを併設、中学生以上の青少年が自由に気軽に立ち寄れる場として青少年活動フロアを地下に設置し、サウンドスタジオやパフォーマンススタジオを整備するなど、人々が集う場の創出をイメージした空間となっています。

3. 塩尻市市民交流センターえんぱーく(長野県塩尻市)【HP:<https://enpark.info/>】

○施設情報

竣工：H22.8 延床面積：1万1,901㎡（地上5階、地下1階）

複合施設：図書館、子育て支援センター、商工会議所、ハローワーク、ケーブルテレビ、民間企業など

○施設概要

「誰もが気軽に立ち寄れる施設」を目指し、「図書館」、「子育て支援・青少年交流」、「シニア活動支援」、「ビジネス支援」、「市民活動支援」の5つの重点分野を掲げ、様々な機能が複合された施設です。

施設名称の「えん」は、「円（丸い円）」、「縁（ご縁）」、「塩（塩尻）」を意味し、「パーク」は、「公園のように誰もが気軽に立ち寄れる施設」との願いが込められ、一般公募によって決定されました。

壁柱と呼ばれる薄い板状の壁が建物を支え、吹き抜けを通じて十分な採光を確保しています。また、図書館と街をいきかう人々を可視化できるように、建物は三方向がガラスとなっており、施設内どこにいても開放的な気分を味わうことができます。



先行事例を参考にして、
みんなで考えてみよう！